



## 長良川と生きる

河口堰運用25年

集落の周りを堤防で囲み、水害に備える輪中。長良川の河口に近い海津市、羽島市、輪之内町にまたがる高須輪中現在広がるのは、大規模な農地。これは長良川河口堰（三重県桑名市）の存在と無関係ではない。

農地を集約し、機械化を進めて作物を育てる「サンフレッシュ海津」（海津市）は、同市にある約二百六十のほ場で、米や麦、大豆、キャベツ、ジャガイモを栽培する。社長の高木健一（四十三歳）は「農業はひとり勝ちできない。産地を盛り上げる会社になりたい」と意気込む。

農地の広さは、ナゴヤドーム四十二個分ほど。まるで北海道の農場のような光景が広がり、以前この土地で見られた農業とはすっかり姿を変えた。

関ケ原クラブで投票  
勝者はさみを商品化



関ケ原原町の関ケ原笛山交流館で

関ケ原観光協会（関ケ原町）は、特設サイトで展開する「関ケ原ファンクラブ」で、関ケ原合戦参戦武将の人気投票を行っている。ナンバーワンの座を勝ち取った武将をイメージし、オリジナルのはさみを作成。人気投票に参戦するのは西軍の石田三成、島津義久。

吉田有子事務局長は「まだ挽回ができる票差。好きな武将の勝利を目指して投票して」と話す。二十三日まで投票できる。

ファンクラブは、合戦跡などの史跡巡りをより楽しくでもらおうと、観光協会が昨年十一月に発足。特設サイトから無料で入会できる。

観光協会は、会員に楽し

んでもらおうと、はさみ作

りを企画。関市東貨上の刃物製造「ニッケン刃物」が協力し、人気トップの武将をイメージしたオリジナル

「日本刀はさみ」を商品化する。はさみの刃を日本刀の刀身に見立てる。さやのようなギャップ

た、さやのよう

なギャップ

た。

五百六十六人に

なった。

三百八十人。

一番人気は石

田三成で、二位は大谷吉

一回投票できる。

大谷吉

一回投票できる。

西軍の石田三成、島津義

久。

西軍の石田三成、島津義

</